



相談 **444-2343**

連絡先 【自宅】兵庫県高砂市荒井町新浜2-19-9
TEL 079-444-2343 FAX 444-2418

E-mail: ioku3@yahoo.co.jp
URL <http://ioku.cool.ne.jp/>

いおく
井奥 まさき **NEWS**
【高砂市議会議員】

2007・10
10月号
(通算63号)

みどり・市民派をめざす
高砂市議会議員 井奥まさき
が皆さんにお伝えしたい情報
を書いています

財政改革 シンドイ情報こそ市民に公開して議論を

高砂市議会議員
井奥まさき

実態を明らかにして、対策の目標額を示せ

■市長の病名は急性骨髄性白血病。三か月の療養休暇の期限は十一月末くらいとなります。

私が予測する

平成23年まで
[2011年]

5年で70億円の財源不足

■現在の中期財政計画

平成23年[2011] 16億円の黒字

■計画の中で隠された赤字

②基金から運用 △5.5億円

下水道平準化債 △20億円

下水道値上げ(22年) △3億円

■私が必要と思うお金

財政調整基金 △19.5億円

市民病院への対策 △30億円

土地開発公社への対策△3億円

国民健康保険の累積赤字対策

△5億円(健全化法対策)

計算式

16-(5.5+20+3+19.5+30+3+5)

市長不在で政策決定できず

9月議会は市長の突然の入院により、副市長の提案理由説明から開始されました。9年間の私の議員生活でも初めての異例な事態です。

初日に中期財政計画が報告さ

れましたが、市長不在のため、3月議会で報告したものを繰り返したただけでした。

中期財政計画では「最終年で16億円の黒字(5年間トータル)」という数字が示されました。

しかし、そこにはすぐにでも手当をしなくてはいけない市民病院などの費用は入っていません。さらに、基金の取り崩しや下水道平準化債を入れると今でも10億円以上の赤字なのです。なおかつ密かに平成23年度[2011年]の下水道値上げという市民負担も盛り込んでいました。

財政再建は二段階で

健全な計画づくりのためには二つの段階を踏む必要があります。第一段階では、実態を明らかにすることです。第二段階では6つの分野に分けて、それぞれの財政対策の目標額を明示することです。そこを混在させると議論がわかりにくくなります。

今の計画では税収回復にもかかわらず、高砂市は停滞感が続く市政となるでしょう。

下に私の考えを示しました。市長は早急に公務復帰してこのシンドイ作業をすべきです。

私の考えは…

平成23年まで
[2011年]

5年で70億円の財源対策は？

①歳入の増加(滞納対策など)
5億円

②新規事業の抑制
削り過ぎ 逆に増やすべき

③経費の節減
限界 これ以上は市民サービス低下に

④人件費の削減
ムダな管理職削減や民営化、施設の統廃合も含め

[不足額の半分 35億円]の目標を
⑤市民負担(料金値上げなど)
現在でも3億円が計上

10億円程度が必要

⑥財政対策=新たな借金
現在でも20億円を計上

子育て日記 お姉さんぶり？赤ちゃん返り？

娘のお姉さんぶりが増えてきました。先日私がトイレにスリッパを履かずに入ったら「パパめっ」「私はちゃんとはくもん」と怒られました。弟(0歳)のベッドの横から「ネンネ」させようと子守唄を歌ってトントン背中をたたいたりします。えらくしっかりしてきたものです。

かと思うと、赤ちゃんに戻ったような行動もします。弟が泣き出して夫婦でおろおろしていると、

一緒になって泣きマネ。そして、そういう忙しい時に限って「抱っこして」とせがみます。

この前も「私は赤ちゃん」と言って弟のチャイルドシートを占領して動かなかったことがありました。「下の子ができる上の子は嫉妬して変な行動をするよ」と聞いてはいましたが、実際やられるとビックリします。

娘もいよいよ来月で3歳。これからのどんな行動が見られるやら。

■高砂市議会議員の実態公開

議員報酬 合計 年858万6900円
月額 52万2000円
期末手当(6月、12月)
合計 4.45カ月

※期末手当の割り増し[市職員の管理職は実施]は廃止(以前は15%増)
政務調査費 月額2.5万円

(領収書は1円から添付、全面公開)
委員会視察 年1回(1泊2日)
(行き先、成果は議会だよりで公開)

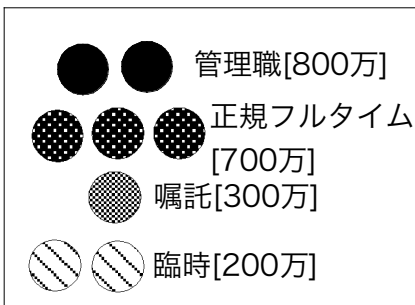
□他市や県で問題となっている

「特権」は廃止済みです。例 会議手当(費用弁償)/無料交通パス/海外視察

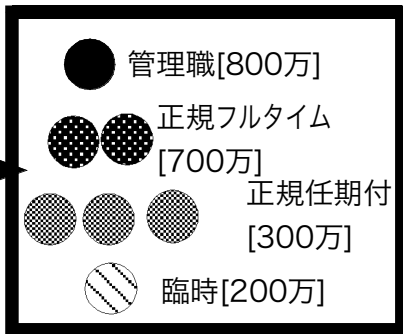
人件費問題 ゴマカシの将来負担ではダメ、抜本的改革なしに高砂市の未来はない！

管理職削減や仕事の見直しなど抜本的改革を

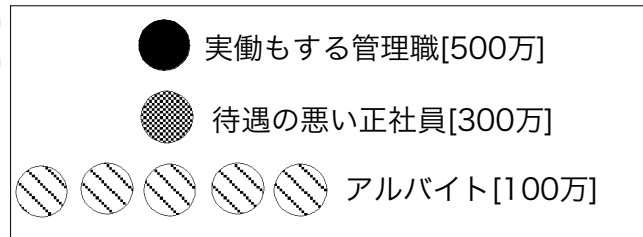
【ア】現状イメージ



【イ】改革イメージ



【ウ】民間イメージ



経費の例

(ア)4400万
 (イ)3300万
 (ウ)1500万

■高砂市55歳以上の給与分布表 (普通会計ベース)

年収(円)	1000	900	800	700	600~	合計(人)
部長級	10	2	1			13 (参事1)
次長級		18				18 (参事9)
課長級		18	43			61
その他		3	19	60	4	86

部長級参事 1000万一人、次長級900万円九人削減すれば年1億円近い人件費削減

■医師一人確保で年1億円以上の収入増。医師流出を食い止め、確保策に手をうつべきです

病院問題 新体制のもとで「下げ止まり」目標を

年10億→年5億円(赤字)の改善目標が必要

【病院改善への新しい提言】

- ・ 2年後の赤字目標を年5億円に(1年後8億円、今年は10億円以内に)
 目標が達成できなければ、公設民営や独立行政法人化、民間委譲のいずれかへ
- ・ 市民に説明会と意思表明を
 院長と市長で地域ミーティングの実施を
- ・ 医師確保のために待遇改善にさらなる努力を
 保育施設などで女性医師確保
- ・ 配食の民間委託も検討を
 学校給食民営化を止めてでも
- ・ 専門家のアドバイスを
 外部監査や専門委員会の設置や管理者設置は必要

30億円 市税投入の可能性も

前ページでも示したように、市民病院を維持するためには最低30億円の税金を投入しなければならないような状況です。

(年3億5000万プラス不良債務解消額)依然として19年度[2007年]は年10億円の赤字見込みです。

この赤字は年間8億円の通常の税金投入もした上での金額です。市長や一部議員は「市民の安全安心のために市民病院の維持」と簡単にいいますが、いくらお金をつぎこんでも良いとは言えません。国の方針では来年度中には数値目標つきの「改革

前ページで人件費削減目標の35億円を示しました。

二つだけ考えを示します。

まずは管理職削減です。参事削減で年1億円近くが節減できます。また仕事の見直しも重要です。左のイメージのように人員構成を見直すだけで同じ仕事でも経費は削減できます。私は「民間労働は行き過ぎ、公務労働は甘過ぎ」という立場です。民間の「非正規中心労働」のひどい実態も問題ですが、高砂市は改革を怠り、「市民へのサービス」を犠牲にして人件費を使いすぎています。

こういった抜本的な改革をいくつもやっていかないと高砂市の未来はありません。また、改革の方向性すら示さず、市民負担や新たな借金をすることは許されません。

プラン」づくりが命じられます。

例えば加古川市や芦屋市は高砂市より状況が良いにも関わらず、独立行政法人化を進めています。

2年後に赤字半減目標、駄目なら次の手段を

「進むも地獄、退くも地獄」の中で、特別委員会の中で私は左のような方向性を提言しています。

一番のポイントは2年後の目標を年5億円の赤字に置く。駄目なら次の方向を打ち出すことです。

院長や副院長が新しくなり、医師の流出も一段落したようです。

今こそ新体制を市民にもアピールし、理解と条件を得た上で「背水の陣」で先に進むべきです。

■高砂市民まちづくり協議会 毎月第三土曜日 午後2時より中央公民館

■加古川市の女兒刺殺事件は衝撃です。地域の防犯力をどう作るかを考えねばなりません。

■広告 家庭教師します 079-442-3438 河田寛人 早朝から深夜まで 不登校児も可
 早稲田大学政経学部卒業 小・中・高主要科目 1時間3000円 1時間までの学習相談(参考書選定アドバイスなど)は無料